



《 例会 》 毎月第2水曜日 19:00~21:00 若松栄町教会 (☎ 0242-27-3944)

2017~2018 年度主題

国際会長	「国境なき友情」
アジア地域会長	「ワイズ運動を尊重しよう」
東日本区理事 栗本治郎 (熱海)	「広げよう ワイズの仲間」
北東部部長 鈴木伊知郎 (宇都宮東)	「明日のために、いま土台を築こう」
会津クラブ会長 青山孝男	「新しい可能性を秘めて、共に歩もう！」

<No.270 会津通信>
2017年10月11日発行

会 長	青山孝男
副会長	高橋眞美
書 記	高橋真人
会 計	高橋真人

◇10月の聖句◇

柔和な人々は幸いである。その人たちは地を受け継ぐ。

マタイ福音書5章 5節

10月例会プログラム

日時；2017年10月11日(火)19:00~
会場；若松栄町教会

司会；高橋真人さん

- | | |
|---------------------------------------|--------|
| 1. 開 会 点 鐘 | 青山孝男会長 |
| 2. ワイズソング | 一 同 |
| 3. 会長あいさつ | 青山孝男会長 |
| 4. 連 絡・報 告 | |
| 5. 聖 句 朗 読 | |
| 6. 食前感謝 | |
| 7. 会 食 | |
| 8. ゲストスピーチ | 江川和弥氏 |
| 9. Happy Birthday! Happy Anniversary! | |
| 10/2 青山孝男 | |
| - あかべこ | |
| 10. 閉 会 点 鐘 | 青山孝男会長 |

43年前のできごと

高橋 力

1974年だった。最初の「太平洋宣教会議」がホノルルで開かれた時、賑やかさもあって若松栄町教会青年会10名をハワイに誘った。みんな初めてのホノルルの甘い空気にうっとり。68年に若松栄町教会に来訪したハワイチームの5人の一人、ジョー・モリタが世話役だった。会議が終わりハワイ州の諸教会聖歌隊のコンサートに特別チームとしてハワイ島ヒロに招かれた。出演聖歌隊はいかにもハワイらしくウクレレの聖歌隊もあった。われわれ赤ベコ聖歌隊も拍手喝采を浴びた。プールサイドの観客席はアロハやムームーで満艦飾。ハワイ島観光のドライバーはなんと有名なカワイオハオ教会のアカカ牧師のお連れあいだった。車中で話がまとまって翌日の礼拝で歌うことになった。



ホノルルに戻って翌朝、急な招きでマキキ聖城教会の早朝礼拝でも歌った。ここは天井蒔絵が美しい天守閣の

<9月例会出席状況>

在 籍 者 5名 ゲスト0名
出 席 者 5名
*例会出席率 100%
あ か べ こ 5,000円
17-18年度合計 5,000円

☆ 強い義務感を持つと 義務はすべての権利に伴う。 ☆

あるお城の教会だ。歌い終わって車を飛ばし珊瑚石で積まれた堂々たるハワイ王朝の玉座のあるカワイオハオ教会に駆けつけた。アカカ牧師のすごいバリトンの説教は賀川豊彦の働きを語るものだった。やおらウクレレを抱いて歌い始めた。ふと気がつくすとすばらしいバックコーラスが。なんと説教壇に坐る長老たちがハモっている。赤ちゃんを抱いた人もいる聖歌隊がずば抜けている。われらあかべこ聖歌隊はその講壇に上げられてひざをかくがくさせながらなんとか歌った。

礼拝を終えて最期のチャンスになった海水浴をちょこっと楽しんで程なくホノルル空港へ出発時刻ギリギリに滑り込んだ。海から上がったまんまの姿で帰途に着く。動き出したジェット機が機内アナウンスとともに止まった。「パスタータカハシ？」とスチュワーデスがひとつずつ座席を確かめながら近づいて来た。聞かれて「そうだ」と返事すると手にしたかぐわしいレイがわが首にのっぴりとかけられた。あのジョーさんがみんなへのお土産のパイナップルを積み込んだから、とようやく判明。あわてて窓から見た遠くに手を振っている Mrs バーバラたちが垣間みえた。

完熟のパイナップル6個入りがなんと20箱。パイナップル畑でジョーに一人6個と頼んだのがこれだった。滅法高い宅配運賃の豪勢なお土産は最高だった。これは青山孝男会長の新婚旅行だった。

(次回は高橋真人さん)



今月の例会は

「こども食堂の話」を聞く会 講師紹介



子どもたちにとってより「安心・安全」な「居場所」を子どもたちと一緒につくり、地域の方々とさらに繋がり、「ともに支えあえる社会」をつかっていくための活動をして

いる特定非営利活動法人「寺子屋方丈舎」代表の江川和弥氏を迎えます。

「こども食堂とは」

食事を一緒に作り、一緒に学んでいく活動です。自分でこの場をよりよくしたい。楽しくしたい。1人がやりたいことをみんなで応援したい。そんな場の運営をしています。

す。みんなでご飯を作り、一緒に食べて、勉強する。子どもたちの居場所です。

会津の先人たち (会津若松市 HP より)

宗教教育に貢献した人

井深 梶之助 いぶか かじのすけ(1854~1935)

宣教師ブラウン

会津藩の降伏により藩士は謹慎させられ、後に斗南(となみ)藩として再興を許されますが、梶之助は西洋の圧倒的な技術力を知り、その背景となる西洋学を学ぶべく、16歳で上京しました。

斗南藩・土佐藩の私塾を転々とし、横浜の「修文館」の学僕となります。そこで、英語を教えていた宣教師のブラウンと出会います。わずかな身の回りのものを売り払い生活費に当てていた梶之助は、ブラウンの経済支援により、勉学を続けました。

ブラウンの指導を通して、世界観や人生観の影響を強く受けた梶之助は、戊辰戦争の恨みを乗り越えて、人道的な包容力を養い、自発的に19歳で洗礼を受けています。

明治学院

明治10年、ブラウンの塾が発展的に解消して東京一致神学校となり、同19年には明治学院となります。梶之助は副総理を務め、36歳でアメリカに留学し、帰国後、総理に就任しました。

明治23年に文部省が、公認学校における宗教の儀式・教育を禁止すると、憲法に定める信教の自由を主張し、公認学校としての特典を拒否して、宗教教育を堅持しました。

寛容の人

大正10年(1921)に30年間務めた総理の職を辞した梶之助は、日本のキリスト教会の代表として、国際会議にも出席し、日本の国際理解のために尽くす一方、多くの著書も残しています。そして、昭和10年(1935)に81歳で亡くなりました。

公平無私で、高い倫理観を持った梶之助は、寛容の人と賞されています。

次回は

社会福祉・児童福祉の先駆者

瓜生 岩(岩子)(うりゅう いわこ)(1829-1897)

◆ 今後の予定 ◆

◇11月例会 11月8日

◇ユニークダンス

11月11日 講習会

11月22日 例会